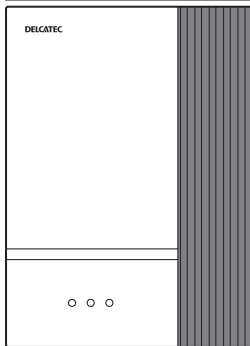


ワイヤレスインターホン 玄関子機セット DWA20BD

保証書付

DECT 準拠方式^(※1)

本製品は、報知、連絡用であり生命救済、
犯罪防止を目的とした機器ではありません。



(※1) DECT (Digital Enhanced Cordless Telecommunications) は ETSI (欧州電気通信標準化機構) の商標で、世界で広く普及している無線通信方式のひとつです。

このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに保管してください。

本製品は、弊社の下記の製品とはシステムが異なりますので、増設・登録して使用することはできません。(互換性がありません)

- ・ HC シリーズ
(HC-3、HC-7、HC-8)
- ・ DWP10A2
- ・ DWP10A1
- ・ DWG10A1
- ・ DWP10A4
- ・ DWM10A2
- ・ DWH10A1

はじめに

準備／設置

使用方法

機器の増設

その他

目次

目次	2
----------	---

はじめに

安全上のご注意	4
使用上のお願い	10
必ずお読みください	10
使用上のご注意	10
防水性能について (玄関子機のみ)	10
電波について	10
知っていただきたいこと	11
機器を追加してもっと便利に	12
セット内容	13
各部の名称	14
室内機 (親)	14
玄関子機	17

準備・設置

電源	19
室内機の専用ACアダプターの接続・使用方法	19
玄関子機に電池を入れる	20
玄関子機の電池が切れたとき	21
取り付け方法	22
室内機の実取り付け	23
玄関子機の実取り付け	25

使用方法

基本操作方法	28
玄関子機と室内機 (親) の呼び出し・通話	28
室内機の機能設定	32
設定できる機能の一覧	32
着信音量の設定	33
通話音量の設定	33
室内機からの着信音の種類の設定	34
サイレントモードの設定 (室内機 (親) のみ)	36

不在着信表示の設定解除.....	38
玄関子機の機能設定	41
設定できる機能の一覧	41
呼び出し音量の設定	42
通話音量の設定	42

機器の増設

登録方法	43
増設用室内機 (別売品) の登録方法	43
増設用玄関子機の登録方法.....	46
登録の解除方法	48

その他

便利な使い方 (増設用室内機 (別売品) を増設した場合)	50
個別で室内機間の呼び出し・通話 (個別呼び出し)	51
個別の室内機への呼びかけ (個別呼びかけ)	53
すべての室内機への呼び出し (一斉呼び出し)	55
すべての室内機への話しかけ (一斉アナウンス)	57
割り込み着信 (室内機 (子) を登録しているとき)	60
室内機 (子) からの緊急呼び出しの着信	61
2回線同時通話	62
故障と判断する前に	63
室内機 (親)	63
玄関子機	65
メンテナンス・別売品	67
お手入れおよびメンテナンス時のご注意	67
別売品について	67
仕様	68
室内機 (親)	68
玄関子機	69
外形寸法図	70
室内機 (親)	70
玄関子機	70

安全上のご注意

お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。



警告

この内容を見逃して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この内容を見逃して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。



一般的な
注意事項



水ぬれ
禁止



接触禁止



指示を
守る



一般的な
禁止事項



分解禁止



ぬれ手
禁止



プラグ
を抜く



警告



指定の電源で使用する

- 室内機(親)は必ず付属のACアダプターを使用する。
他の機器のACアダプターなどを使用すると火災や感電の原因となります。
- 付属のACアダプターはAC100V(50/60Hz) コンセントを使用する。
100V以外のコンセントに差し込むと、火災や感電、故障の原因となります。
- 玄関子機は必ず市販の単3形アルカリ乾電池を使用する。
別の種類の電池を使用すると、液漏れや発熱の原因となります。
- 玄関子機の乾電池は入れる前に、⊕⊖の向きを確かめて正しく入れる。
向きを間違えると火災や感電、故障の原因となります。

**ケーブルに無理な力を加えたり、傷つけたりしない**

- ケーブル類は、傷つける、加工する、無理に曲げる、ねじる、重いものを載せる、加熱する（熱器具に近づける）、引っばるなどをしない。

電源コードなどが傷んだときは（芯線の露出、断線など）、お買い上げの販売店、工事店、または弊社カスタマーセンターにご相談ください。そのまま使用すると火災や感電などの原因となります。

- 内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだりしない。

火災や感電の原因となります。

**結露した状態で使用しない**

故障の原因となります。電源を切り、結露がとれたあとで、電源を供給し直してください。

**ぬれた手でさわらない**

感電の原因となります。

**雷が鳴り出したら室内機（親）の電源コードや玄関子機に触れない**

感電の原因となります。

**分解、改造、修理はしない**

室内機（親）、玄関子機とも分解や改造は法律により禁止されていますので、絶対にしないでください。

**異常があるときは、すぐに使用を中止する**

次のような異常時は、室内機（親）のACアダプターをコンセントから抜き、お買い上げの販売店、工事店、または弊社カスタマーセンターに連絡してください。

- 煙がでる、変な臭いがする
- 内部に水や昆虫、物が入った
- 異音が鳴る
- ACアダプターのコードや外部が破損、劣化している

火災、感電、けが、故障の原因となります。



警告



ACアダプターは、風通しの悪い場所で使用しない
風通しを悪くすると、内部に熱がこもり、火災の原因となります。次のような使い方はしないでください。

- 押入れ、本箱・天井裏など、風通しの悪い狭いところに押し込む
- テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置いたりする
- 布や布団でおおったり、包んだりする



ACアダプターに水をかけたり、濡らしたりしない。また、ACアダプターの上に水や薬品の入った容器を置かない
水や薬品が中に入った場合、火災や感電の原因となります。また、ペットなどの動物がACアダプターの上に乗らないように注意してください。尿や糞が中に入った場合、火災や感電の原因となります。



ACアダプターはACコンセントから抜きやすい場所
で使用する

ACアダプターが容易に取り外しできるようにしてください。



ACアダプターは、ACコンセントに根元までしっかりと差し込む

すき間があるとゴミがたまり、火災の原因となります。また、ACアダプターは定期的にACコンセントから抜いて掃除してください。



万一、ACアダプターを落としたり、破損したりした場合、ACアダプターをACコンセントから抜いて販売店に連絡する

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



ACアダプターをACコンセントから抜くときは、コードを引っ張らない

コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。必ずAC アダプター本体を持って抜いてください。

警告

-  **たこ足配線など、コンセントや配線器具の定格を超える使い方をしない**
発熱による火災の原因となります。
-  **室内機を次の場所に設置しない**
 - 幼児やお子様の手の届く範囲に放置しない
誤ってストラップを首に巻きつけ、窒息を起こす原因となります。
 - 人の通行の妨げになる場所
ACアダプターのコードを引っ掛け、けがや破損の原因となります。
 - 直射日光の当たる場所、熱器具の付近や高温になる場所、湯煙や湿気、ホコリの多い所
火災や感電、故障の原因となります。
 - 雨水などがかかる場所や浴室、シャワー室、プールなどの湿気の多い所(室内機(親)は防水仕様ではありません)
室内機は、屋内用です。
湿気や湯気による故障の原因となります。
 - 強度の不足する場所、不安定な場所、振動の多い場所
落下し、けがの原因となります。
-  **玄関子機を次の場所に設置しない**
 - 強度の不足する場所、不安定な場所、振動の多い場所
落下し、けがの原因となります。
 - 浴室やシャワー室、プールなどの湿気の多い所
火災や感電、故障の原因となります。
-  **次のような場所や条件では、人体や医療機器などに影響を与える場合があるため、取り付けない**
 - 病院など特定の電波の使用を禁止された区域
 - 医療用電気機器の近く(手術室、集中治療室、CCU等)
※CCU:冠状動脈疾患監視病室
 - 自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近く
 - 心臓ペースメーカーの装着部位から15cm以内の位置
誤動作による事故の原因となります。



警告



乳幼児の手の届く場所に付属品などを置かない

乳幼児が付属品などを飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。



距離が離れていたり、100m以内でも間に次のような遮蔽物が存在したりする場合、環境により電波が弱くなってブツブツ音や通話の途切れが起きる事があります

・障害物

- ・金属製のドアや雨戸（シャッター）
- ・複層ガラスの窓
- ・アルミ箔入りの断熱材が入った壁
- ・壁を何枚も隔てたところ
- ・コンクリートやトタン製の壁
- ・テレビ、携帯電話などの無線局が近くにある場合
- ・テレビ、ラジオ、ルーター、パソコン、FAX、送信機など電波を発生している家電製品やその他のOA機器が近くにある場所
- ・各機器をそれぞれ別の階や家屋などで使う場合
- ・夜間のシャッターの戸締り



玄関子機にホースなどで直接水をかけたり、大量の水がかかるような場所には取り付けない

大量の水（ゲリラ豪雨や台風の雨など）がかかる場所などでは使用できません。



定期的に点検する

取り付けが緩んだり、ネジが錆びたりすると、落下による破損、けがの原因となります。

注意



玄関子機は正しい向きで使用する

玄関子機は防雨構造ですが、JIS保護等級IPX3 (防雨型) 相当の防水構造です。屋外で据え置きにしたり、斜めに取り付けたりすると雨水が浸入して故障の原因となります。



スピーカーを耳にあてない

スピーカーから急に大きな音が出た場合、難聴等の原因となります。



お手入れの注意

ベンジンやアルコール、シンナーなどは使わず、乾いた布で乾拭きしてください。溶けたり、変形や変色の原因となります。

使用上のお願い

必ずお読みください

本製品を設置する前に、必ず動作確認を行ってください。

- ・本書に記載されている以外の取り付けを行ったことに起因する故障、および事故については当社は一切責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

重要

設置場所の環境によっては、他の機器の電波が妨害となったり、壁などの影響によって電波が減衰するなど、正常に動作しないことがあります。電波強度が十分かどうかは、室内機(親)のランプで、確認することができます。

使用上のご注意

- ・本製品の使用は、日本国内のみです。海外では使用できません。
- ・室内機は屋内専用です。

防水性能について(玄関子機のみ)

- ・本製品の玄関子機にはJIS保護等級IPX3(防雨型)相当の防水性能がありますが、完全防水ではありません。多少の水に濡れても使用できますが、水没した場合は故障する恐れがあります。玄関子機は背面に水などが直接かからないようにしてください。

電波について

本製品は、1.9GHz帯を使用する時分割多元接続方式広帯域デジタルコードレス電話の無線局の無線設備です。

1.9-D

(一般社団法人 電波産業会 標準規格「ARIB STD-T101」準拠)

- ・本製品はデジタル信号を利用しており、通信傍受されにくい商品ですが、電波を扱うことにより、第三者が故意に傍受することも考えられるため、あらかじめご了承ください。

本製品の使用周波数に関するご注意

- 本製品の使用周波数帯では、PHSの無線局のほか、異なる種類のデジタルコードレス電話の無線局が運用されています。
- 本製品は同一周波数帯を使用する他の無線局と電波干渉が発生しないように考慮されていますが、万一、本製品から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかにご購入店、当社カスタマーセンターにご連絡いただき、混信回避のための処置等(例えばパーティションの設置等)についてご相談ください。
- 無線LANとは周波数が異なるので混信することはありません。
- 本製品をCSデジタル放送を受信している環境で使用する場合、CSデジタル放送のアンテナ伝送路に本製品の電波が混入(テレビ映像にモザイク状のノイズが発生)する可能性があります。この場合、シールド性の高い衛星放送対応の分波器、接続ケーブルをお使いいただくことで影響を軽減できる場合があります。

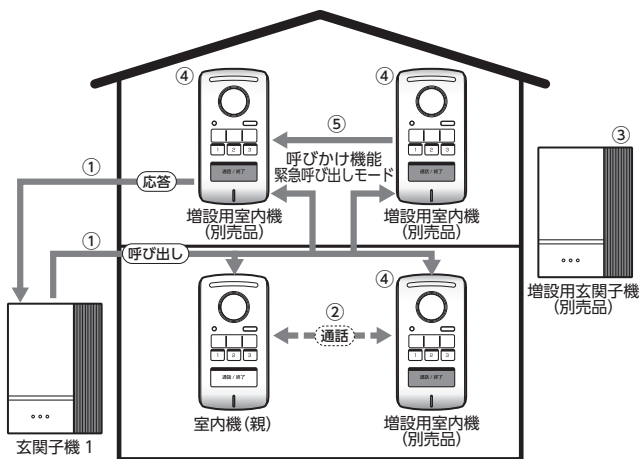
知っていただきたいこと

- 双方向通話は1対1で行います。(一斉アナウンスを除く)
(2台をこえる同時通話はできません)
- 増設用室内機を追加した場合、**室内機(子)－室内機(子)間を含むすべての室内機間で通話が可能**です。
- 玄関子機からの呼び出しは、室内機の一斉呼び出しになります。室内機からの呼び出しは、**室内機の一斉呼び出しと個別呼び出し**ができます。(玄関子機を呼び出すことはできません)
- 通話中に玄関子機の呼び出しボタンが押されると、割り込みを知らせる音が鳴り、通話中の室内機の「通話/終了」ボタンを押すと、通話を終了し、玄関子機と通話できます。(➡28ページ)
- 室内機の着信音は3種類ありますので、それぞれに違う着信音を割り当てることで、いずれの室内機からの呼び出しかが分ります。
- 各機器を**1m**以内に近づけるとハウリングが発生することがあります。その場合、離して使用してください。
- すべての通話は室内機(親)を中継して行ないますので、室内機(親)の電源が**OFF**になったり、室内機(親)の電波がさえぎられると、通話ができなくなりますので、ご注意ください。

機器を追加してもっと便利に

● 増設用室内機(子)や増設用玄関子機を追加すると、次のように便利になります。

- ① 室内機(親)が応答できないときでも、他の室内機が応答できます。
- ② 室内機どうしても連絡ができます。
- ③ 出入口が2カ所ある店舗兼用住宅などでも、来客応対できます。
- ④ 持ち運んで使うことができます。(室内機(子)は充電電池式)
- ⑤ 室内機どうしの連絡では、呼びかけ機能や緊急呼び出しモードなど、介護や見守りにも便利な機能を備えています。



増設用には、下記の増設用子機をお買い求めください。

- ・増設用室内機(子)「型番 DWA20R」
- ・増設用玄関子機「型番 DWA20D」

重要

- ・1台の室内機(親)に対して、**最大3台までの室内機(子)と最大2台までの玄関子機**が登録できます。
- ・1台の増設用室内機(子)に対して室内機(親)は1台しか登録できません。
(別の室内機(親)グループには登録できません)

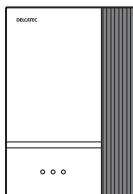
セット内容

本製品には次のものが入っています。すべてが揃っているかを確認してください。

重要 必ず付属のACアダプターを使用してください。

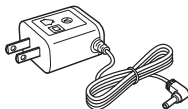


室内機(親):1台

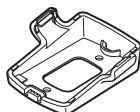


取付台(1台)は、
本体に装着済です

玄関子機:1台



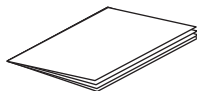
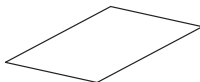
専用ACアダプター:1個
コード長約1.8m
型番:EP-DG32



壁掛けスタンド:1台



「室内機」壁取付用ネジ 室内機ボタンラベル
(M4×16mm):2本 シート:1枚



取扱説明書:1冊



アンカー:2本



小ネジ
(M4×18mm):2本



「玄関子機」壁取付用ネジ
(M4×25mm):2本

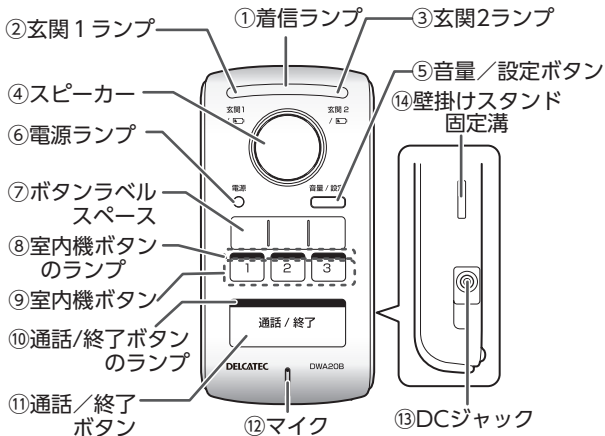
重要

玄関子機用単3形アルカリ乾電池は付属しておりません。
市販品を別途ご用意ください。

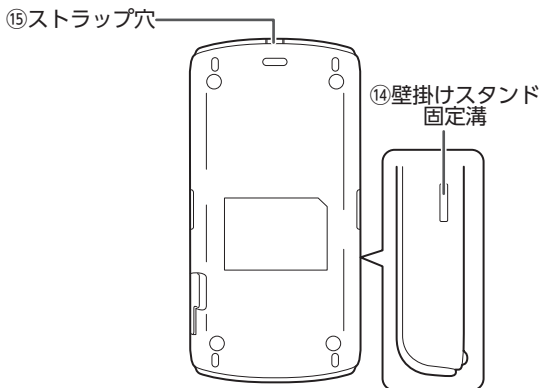
各部の名称

室内機(親)

● 正面



● 背面



①着信ランプ

着信があると青色に点滅します。

2秒間隔で点滅しているときは、玄関子機が登録されていない状態です。

②玄関1ランプ

玄関子機1から着信があるときは、以下のようにランプが点滅または点灯します。

・緑色点滅

玄関子機1からの着信

・緑色点灯

玄関子機1との通話中

・赤色点滅

玄関子機1の電池残量低下
または玄関子機の電波が届いていない

③玄関2ランプ

玄関子機2から着信があるときは、以下のようにランプが点滅または点灯します。

・緑色点滅

玄関子機2からの着信

・緑色点灯

玄関子機2との通話中

・赤色点滅

玄関子機2の電池残量低下

④スピーカー

着信音、通話音声を出力します。

⑤音量／設定ボタン

音量を設定したり、機能設定モードに入るときに使用します。

⑥電源ランプ

電源が接続されていると、緑色に点灯します。

・赤色点滅

緊急呼び出しモードを設定した室内機(子)の電池残量が低下したとき

⑦ボタンラベルスペース

付属のボタンラベルシートから使用するラベルを貼って、室内機ボタンの判別します。

⑧室内機ボタンのランプ

[1]～[3]

他の室内機から着信があるとき、以下のようにランプが点滅または点灯します。

・緑色点滅

- ・他の室内機を呼び出し中
- ・他の室内機から着信中
- ・他の室内機から一斉アナウンスの着信中

・緑色点灯

通話中

・赤色点滅

- ・不在着信あり(不在着信表示をオンのとき)
- ・緊急呼び出しとして他の室内機から着信中

⑨室内機ボタン[1]～[3]

室内機1～3を呼び出すときに使用します。

⑩通話／終了ボタンのランプ**• 緑色点滅**

一斉呼び出し中

• 緑色点灯

一斉アナウンスの送話中

⑪通話／終了ボタン

一斉呼び出しのとき、一斉アナウンスのとき、応答するときに使用します。

⑫マイク

この部分に向かって話します。

⑬DCジャック

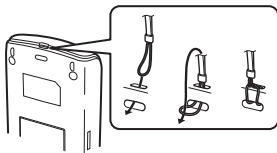
付属の専用ACアダプターのプラグを奥までしっかりと差し込みます。

⑭壁掛けスタンド固定溝

室内機(親)に壁掛けスタンドを取り付ける際、この溝にしっかりと差し込みます。

⑮ストラップ穴

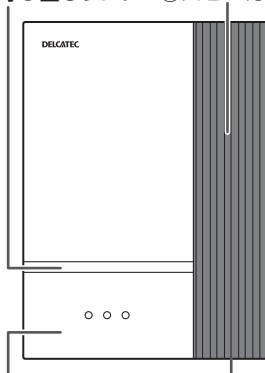
ストラップを取り付けるときは、下図のように取り付けます。



玄関子機

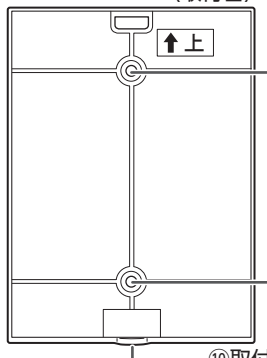
● 正面

- ③呼び出しランプ ①スピーカー



● 背面

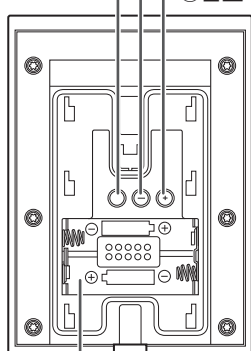
〈取付台〉



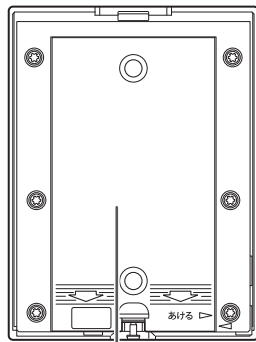
- ④呼び出しボタン ②マイク(底面) ⑪取付台固定ネジ ⑩取付け孔

● 背面(電池カバー取り外し時)

- ⑤設定ボタン ⑥音量-ボタン
⑦音量+ボタン



- ⑧電池ケース



- ⑨電池カバー

①スピーカー

呼び出し音、通話音声を出力します。

②マイク(底面)

この部分に向かって話します。

③呼び出しランプ**• 青色点滅**

呼び出し中

• 青色点灯

通話中

④呼び出しボタン

室内機を呼び出すときに押します。(増設用室内機を増設している場合は、すべての室内機を同時に呼び出せます。)

⑤設定ボタン

機能設定モードに入るときに使用します。

⑥音量-ボタン/⑦音量+ボタン

通話の音量を設定するときに使用します。

⑧電池ケース

市販の単3形アルカリ乾電池×2本を入れます。

⑨電池カバー

電池を交換するときに外します。

⑩取付け孔

付属のネジを通して、壁面等に固定します。

⑪取付台固定ネジ

電池を交換するときなど、取付台を玄関子機本体からはずすときや、本体に取り付けるときは、この固定ネジを回して緩めます。固定ネジは、完全には取り外せないようになっています。

室内機の専用ACアダプターの接続・使用方法

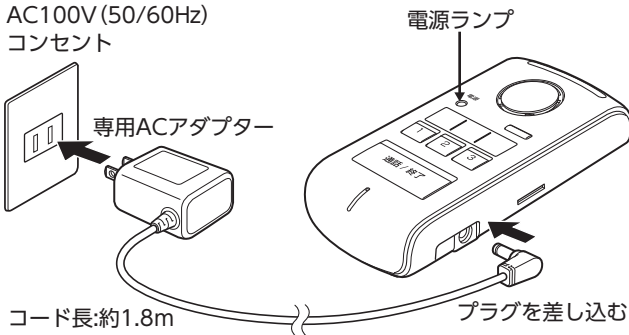
付属の専用ACアダプターを使用して、室内機をコンセントに接続します。

図のように接続し、電源が正しく供給されると確認音が鳴り、電源ランプが緑色点灯します。

電源ランプが緑色に点灯しない場合は、再度プラグを差し込みなおしてください。

AC100V (50/60Hz)

コンセント



⚠注意

必ず、付属の専用 AC アダプターを使用してください。他の機器の AC アダプターを接続すると、故障や感電等の原因となります。

重要

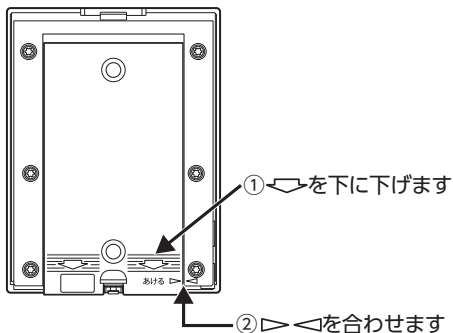
玄関子機は、室内機(親)との通信を定期的に行っています。室内機のACアダプターがはずれていると、室内機を探す動作を行うため、電池の寿命が短くなります。

玄関子機に電池を入れる

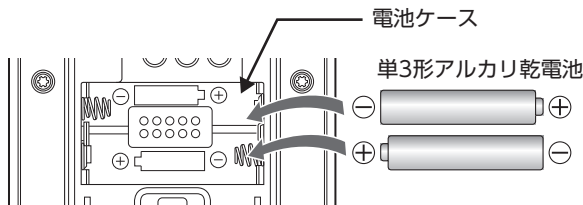
重要

玄関子機には、単3形アルカリ乾電池は付属しておりません。市販品を別途ご用意ください。

下記の①～②の要領で電池カバーをはずします。



電池ケースに新品の単3形アルカリ乾電池(市販品)2本を⊕⊖の向きを確認のうえ、正しく入れてください。正しく入ると、呼び出しランプが青色点灯(約5秒)し、消灯します。



⚠注意

指定以外の電池は使用しないでください。

マンガン乾電池やニッケル水素電池等の二次電池では正常に動作しません。また、古いものと新しいものの混用やアルカリ乾電池と別の種類の乾電池との混用、電池切れ状態での長期放置はしないでください。液漏れや発熱による故障の原因となります。

玄関子機の電池が切れたとき

玄関子機の電池残量が少なくなると室内機(親)のそれぞれに対応する玄関1ランプまたは玄関2ランプが赤色に点滅します。この場合玄関子機背面の単3形アルカリ乾電池2本とも交換してください。

玄関1ランプまたは玄関2ランプは玄関子機の電池が交換されるまで赤色点滅しつづけ、電池が正しく交換されると消灯します。



(イラスト: 玄関子機1の電池が切れたとき)



玄関子機の電池寿命は、1回の呼び出し動作で応答して約10秒間の通話を1日5回する場合、約12か月です。

ただし、呼び出し回数が多い場合は、大幅に短くなります。

また、室内機のACアダプターがはずれていると、室内機を探す動作を行うため、電池の寿命が短くなります。

取り付け方法

△注意

- 金網、鉄筋および鉄骨など埋め込まれている壁面・柱や金属製の扉には取り付けないでください。
- 通信距離100mは、室内機(親)と各玄関子機との間の見通し距離になります。室内機(親)の設置場所を工夫することで、室内機(子)および玄関子機は最大200mまで通信が可能になります。



ただし、最大距離ですので取り付ける前に必ず、その場所ですべての室内機と玄関子機および室内機間で呼び出し・通話ができることを確認してください。取付環境により通話可能距離が短くなる場合があります。

- 玄関子機は垂直に取り付けてください。斜めに取り付けると雨水が侵入して故障の原因となります。
- 既設のインターホンやチャイムなどから交換するときは、AC100Vの電源線が配線されている場合があるので、ビニールテープを巻くなど配線を絶縁処理が必要になります。既設のインターホンやチャイムなどから交換するときは、販売店または工事店へご相談ください。

室内機の取り付け

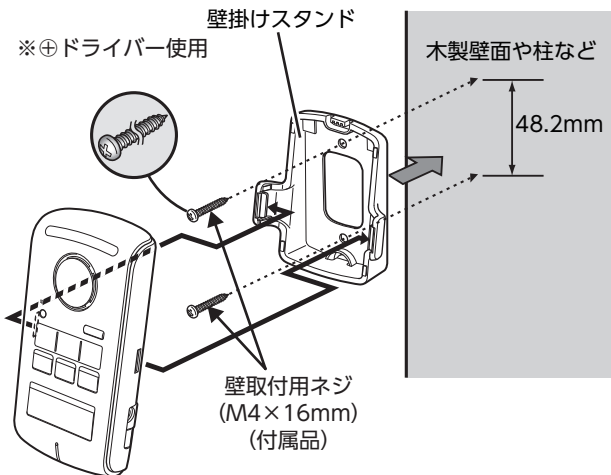
● モルタル、木製の壁面・柱に取り付ける場合

付属の壁掛けスタンドをモルタル、木製の壁面・柱に取り付け、そこに室内機をセットします。

重要

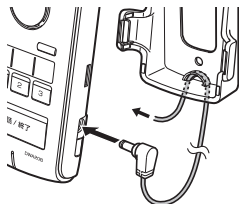
取付作業をする前に、実際に室内機と通話ができることを確認してください。

一度取り付けると、壁面等に穴が開きますので、ご注意ください。



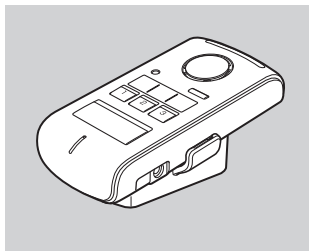
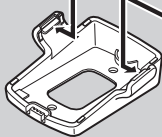
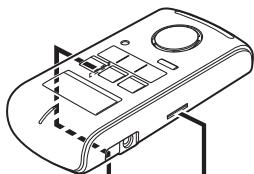
壁掛けスタンドは上図の向きで取り付けてください。

電源ケーブルはケーブル通し穴に通し、ケーブルの引き出し量を調整してから、壁掛けスタンドを取り付けてください。



● 卓上への据え置き

付属の壁掛けスタンドに室内機をセットします。



机の上など

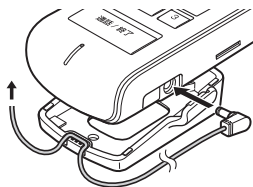


壁掛けスタンドは上図の向きで取り付けてください。

電源ケーブルはケーブル通し穴に通します。

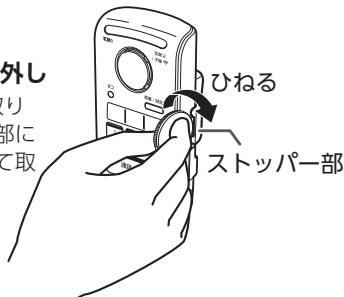
⚠注意

取り付け場所の近くに電源コンセントがない場合は、電源コンセントの近くに移動するか、市販の延長コードを使用してください。ACアダプターのコードを切って継ぎ足すことはしないでください。⊕⊖の短絡により、発熱、発煙感電の原因となります。



● 壁掛けスタンドから取り外し

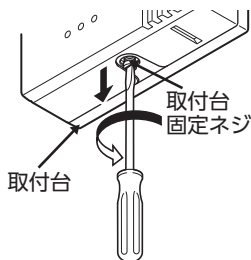
室内機を壁掛けスタンドから取り外しにくいときは、ストッパー部にコインなどを差し込み、ひねって取り外します。



玄関子機の取り付け

● 取付台のはずしかた

右図のように、ドライバーで、取付台固定ネジをゆるめて、取付台から玄関子機本体をはずしてください。

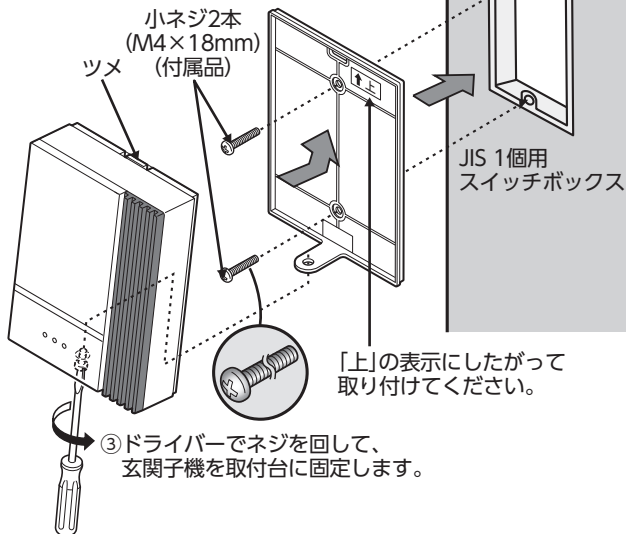


● 玄関子機の取り付けかた

(1) JIS 1個用スイッチボックスに取り付ける場合

② ツメを取付台の上部に差し込むように本体をはめ込みます。

① はじめに取付台を壁面に取り付けます。



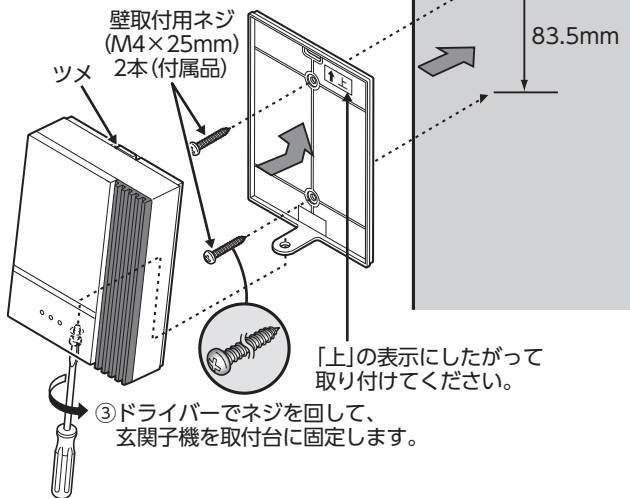
(2) モルタル、木製の壁面・柱に取り付ける場合

重要

取付作業をする前に、実際に室内機と通話ができることを確認してください。

一度取り付けると、壁面等に穴が開きますので、ご注意ください。

- ①はじめに取付台を木製の壁面等に取り付けます。
- ②ツメを取付台の上部に差し込むように本体をはめ込みます。



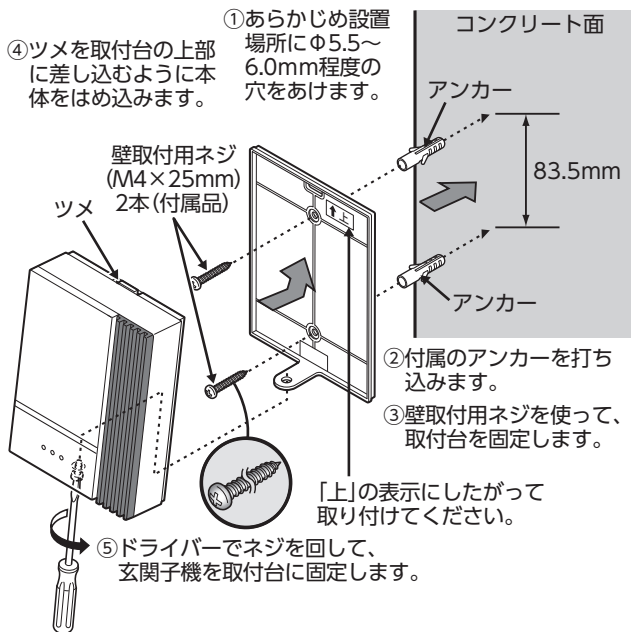
「上」の表示にしたがって
取り付けてください。

(3) コンクリートに取り付ける場合

重要

取付作業をする前に、実際に室内機と通話ができることを確認してください。

一度取り付けると、コンクリートに穴が開きますので、ご注意ください。



基本操作方法

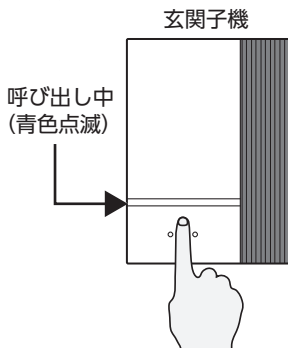
玄関子機と室内機(親)の呼び出し・通話

重要

- 増設用室内機(別売品)を増設すると、すべての室内機を同時に呼び出します。(先に「通話/終了」ボタンを押した方と玄関子機が通話できます。)
- 室内機から玄関子機を呼び出すことはできません。

1 玄関子機の呼び出しボタンを押します。

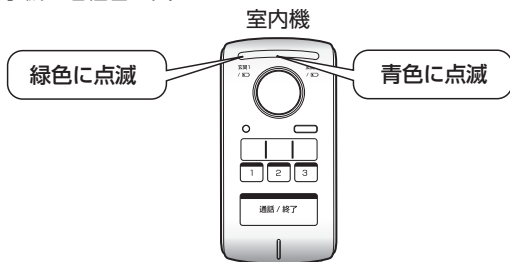
呼び出し音が鳴ります。



呼び出し音は、呼び出しボタンを押して、少し遅れて鳴ります。

2 玄関子機 [1] の着信音が鳴り、玄関 1 ランプが緑色に点滅し着信ランプが青色に点滅します。

増設用玄関子機を増設したときは、本製品の玄関子機と増設用玄関子機の着信音が異なります。



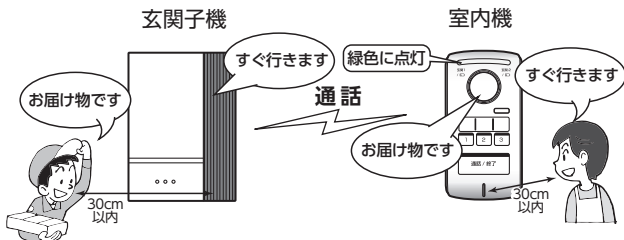
(イラスト: 玄関子機 [1] に着信したとき)



増設用室内機を増設している場合は、すべての室内機を同時に呼び出します。

3 玄関 1 ランプの点滅中に室内機の「通話/終了」ボタンを押します。

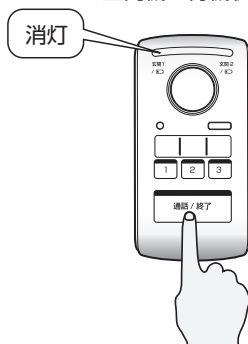
着信音が鳴り止み、玄関 1 ランプが点滅から点灯に変わり (着信ランプの青色点滅が消灯)、通話モードになります。なるべくマイクに近づいて話してください。



4 通話が終了したら、室内機の「通話/終了」ボタンを押します。

通話が終了し、玄関子機と室内機が待機状態になります。
「通話/終了」ボタンを押さなくても、約3分後に通話モードは自動停止し、待機状態になります。(自動停止の15秒前に自動停止予告音が鳴ってお知らせします)

室内機：待機状態

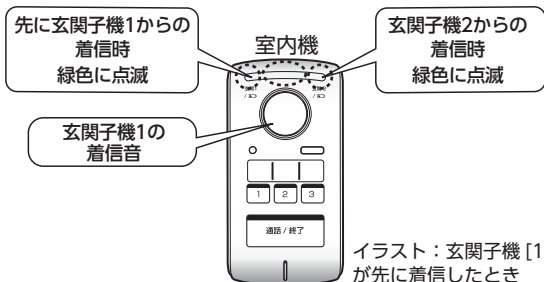


通話が済んだら終了を

終了しないと約3分経つまで自動停止しません。屋外に室内機からの音が流れ続けます。通話が終わったら、必ず終了することをおすすめします。(玄関子機の電池の節約にもなります。)

● 増設用玄関子機を登録し、同時に着信があった場合

玄関子機[1]から着信中に玄関子機[2]から着信した場合は、「通話/終了」ボタンを押すと、先に着信した玄関子機[1]と通話できます。(玄関子機[2]が先に着信したときは、玄関子機[2]と通話できます。) 玄関子機[1]との通話が終了した後、または、他の室内機が玄関子機[1]との通話を開始した後に、室内機の「通話/終了」ボタンを押すと、玄関子機[2]と通話することができます。



● 室内機同士の通話中に玄関子機から呼び出された場合

- ・ 室内機間で通話中に玄関子機の呼び出しボタンが押されると、割り込み音が鳴ります。そのときに室内機で「通話/終了」ボタンを押すと、通話が終了し、玄関子機との通話に切り替わります。
- ・ 室内機で「通話/終了」ボタンを押さなければ、室内機間の通話を継続することができます。



室内機の機能設定

設定できる機能の一覧

機能		参照
着信音量	着信音量を「最大」「大」「中」「小」「最小」「ミュート」の6段階で設定します。	➡33ページ
通話音量	通話音量を「大」「中」「小」「最小」の4段階で設定します。	➡33ページ
着信音の種類※	室内機からの着信音を3つの中から設定します。	➡34ページ
サイレントモード※	増設用室内機(別売品)で通話し、室内機(親)を通話に使用しない場合に、呼び出しランプ、警告音をオフに設定します。	➡36ページ
不在着信表示※	不在時に着信があった時にLEDで表示するかどうかを設定します。	➡38ページ

※増設用室内機を追加したときに使用できます。

着信音量の設定

着信音量を「最大」「大」「中」「小」「最小」「ミュート」の6段階で設定します。

1 待機状態で、「音量/設定」ボタンを押します。

押すごとに「ミュート」「最小」「小」「中」「大」「最大」と選択した着信音量が鳴ります。(「ミュート」に設定すると着信音は鳴りません。)

出荷時設定:「中」



設定を変更してから5秒間ボタンを押さないことで、最後の設定が保存され、待機状態に戻ります。

通話音量の設定

通話音量を「大」「中」「小」「最小」の4段階で設定します。

1 通話中に、「音量/設定」ボタンを押します。

押すごとに「最小」「小」「中」「大」(大の時にボタンを押すと、最小に戻ります。)と選択した通話音量になります。

出荷時設定:「中」



設定を変更してから5秒間ボタンを押さないことで、最後の設定が保存され、待機状態に戻ります。

室内機からの着信音の種類の設定

室内機ごとに着信音を3つの中から設定します。(玄関子機からの着信音は変更できません)

1 「音量/設定」ボタンを3秒間長押しします。

確認音が鳴り、機能設定モードになります。

機能設定モードでは、電源ランプが緑色に点滅します。

緑色点滅



2 「通話/終了」ボタンを押します。

緑色点滅



3 「音量/設定」ボタンを押します。

緑色点滅



4 設定したい室内機の室内機ボタンを押します。

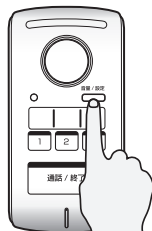
押すごとに選択した着信音が鳴ります。

緑色点滅



5 「音量/設定」ボタンを押します。

確認音が鳴り、待機状態に戻ります。



重要

玄関子機からの着信音は変更できません。

サイレントモードの設定(室内機(親)のみ)

室内機(親)を子機間に中継器として設置することによって、子機間の通信距離を延ばすことができます。(➡22 ページ)

このとき、サイレントモードに設定すると、室内機(親)の着信ランプ、室内機ボタンのランプ、「通話/終了」ボタンのランプ、警告音がすべてオフになります。(出荷時設定: オフ)

重要

- 室内機どうしの電波が届きにくい場合、室内機(親)をできるだけ高い位置に設置することで、電波状況が改善する場合があります。
- サイレントモードは、増設用室内機を追加したときのみ設定してください。増設用室内機を追加しないで設定すると玄関子機からの着信は通知されません。



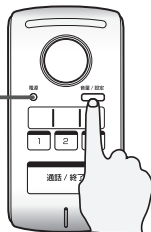
増設用玄関子機からの呼び出しは、室内機(子)で受信します。

1 「音量/設定」ボタンを3秒間長押しします。

確認音が鳴り、機能設定モードになります。

機能設定モードでは、電源ランプが緑色に点滅します。

緑色点滅



2 室内機ボタン[2]を押します。

電源ランプが赤色で点灯します。

赤色点灯



3 「通話/終了」ボタンを押します。

サイレントモードがオンになり、
電源ランプが緑色で点灯します。

緑色点灯



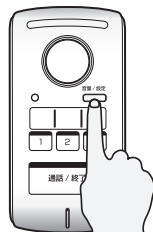
「通話/終了」ボタンを押すとサイレントモードのオンとオフを切り替えることができます。

緑色点灯:サイレントモード
(オン)

赤色点灯:サイレントモード
(オフ)

4 「音量/設定」ボタンを押します。

確認音が鳴り、待機状態に戻ります。



【サイレントモード設定時の動作】

- ・室内機(子)の室内機ボタンを押して室内機(親)を呼び出そうとしても、警告音が鳴り、呼び出しができません。
- ・玄関子機からの呼び出しや室内機からの一斉呼び出しでも、室内機(親)は着信しません。(室内機ボタンのランプの点滅、着信音は鳴りません)
- ・緊急呼び出しのときは、着信します。

サイレントモードを解除する

解除方法は、手順1～5と同じ手順ですが、下記の手順が異なります。

手順2 電源ランプが緑色に点灯します。

手順3 サイレントモードがオフになり電源ランプが赤色に点灯します。

不在着信表示の設定解除

増設用室内機から不在時に着信があった時にランプで表示するかどうかを設定します。

出荷時は表示する設定になっています。

不在着信表示をやめるには次の手順で設定します。

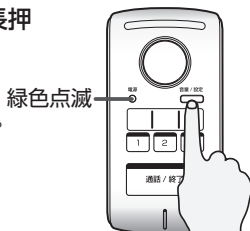
重要

- 不在着信表示の設定解除は、室内機を追加したときのみ使用できます。
- 玄関子機からの不在着信は表示されません。

1 「音量/設定」ボタンを3秒間長押しします。

確認音が鳴り、機能設定モードになります。

機能設定モードでは、電源ランプが緑色に点滅します。



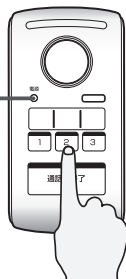
2 「通話/終了」ボタンを押します。



3 室内機ボタン[2]を押します。

電源ランプが緑色で点灯します。

緑色点灯



4 「通話/終了」ボタンを押します。

不在時着信表示がオフになり、電源ランプが赤色で点灯します。

赤色点灯



「通話/終了」ボタンを押すと不在着信表示のオンとオフを切り替えることができます。
緑色点灯: 不在着信 (オン)
赤色点灯: 不在着信 (オフ)

5 「音量/設定」ボタンを押します。

確認音が鳴り、待機状態に戻ります。





不在着信表示をやめた後に再び不在着信を表示するとき
は、手順1～5と同じ手順ですが、下記の手順が異なります。

手順3 電源ランプが赤色に点灯します。

手順4 不在着信がオンになり電源ランプが緑色に点灯
します。

不在着信情報の設定時の動作

不在着信があったときは、室内機ボタンのランプが赤色点滅します。

不在着信情報の消去方法

下記のいずれかのときに、不在着信の表示が消えます。

- ・不在着信の相手を呼び出す
- ・不在着信の相手と通話する
- ・不在着信から1時間が経過する

玄関子機の機能設定

設定できる機能の一覧

機能		参照
呼び出し音量	呼び出し音量を「最大」「大」「中」「小」「最小」の5段階で設定します。	➡42ページ
通話音量	通話音量を「大」「中」「小」「最小」の4段階で設定します。	➡42ページ

呼び出し音量の設定

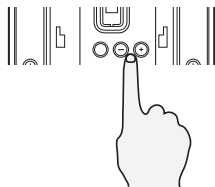
呼び出し音量を「最大」「大」「中」「小」「最小」の5段階で設定します。

1 呼び出し中に、音量-ボタンまたは音量+ボタンを押します。

呼び出し音が鳴っている間は、音量+ボタンを押すたびに、「最小」「小」「中」「大」「最大」と音量が大きくなり、音量-ボタンを押すたびに、「最大」「大」「中」「小」「最小」と音量が小さくなります。

ボタンを押すごとに選択した呼び出し音量になります。(音量が「最大」のときに、音量+ボタンを押すと、「最大」を知らせる音が鳴ります。)

出荷時設定:「中」



通話音量の設定

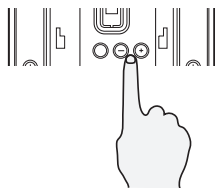
通話音量を「大」「中」「小」「最小」の4段階で設定します。

1 通話中に、音量-ボタンまたは音量+ボタンを押します。

音量+ボタンを押すたびに、「最小」「小」「中」「大」と音量が大きくなり、音量-ボタンを押すたびに、「大」「中」「小」「最小」と音量が小さくなります。

ボタンを押すごとに選択した通話音量になります。(音量が「最大」のときに、音量+ボタンを押すと、「最大」を知らせる音が鳴ります。)

出荷時設定:「中」



登録方法

増設用室内機(別売品)の登録方法

室内機(別売品)を増設する場合は、最初に以下の手順で登録を行ってください。

重要

- 登録作業が済んでいない室内機は使用できません。
- 1つの室内機(親)に最大3台の増設用室内機が登録できます。4台以上登録しようとすると、エラー音が鳴って登録できません。
- 複数の増設用室内機を登録する場合でも、登録作業は1台ずつ行ってください。

1 室内機(親)と登録する増設用室内機の電源を入れます。

2 室内機(親)の「音量/設定」ボタンを3秒以上押します。

確認音が鳴り、電源ランプが緑色に点滅します。

緑色点滅



3 室内機(親)の室内機ボタン[1]を押します。

確認音が鳴り、電源ランプが赤色と緑色に交互に点灯します。(登録するモードになります。)

赤色と緑色が交互に点灯

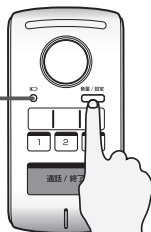


2台目、3台目の増設用室内機を登録するときも、室内機ボタン[1]を押してください。

4 増設用室内機の「音量/設定」ボタンを3秒以上押します。

確認音が鳴り、充電ランプが緑色に点滅します。

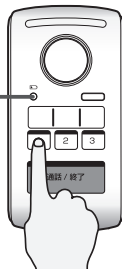
緑色点滅



5 増設用室内機の室内機ボタン[1]を押します。

確認音が鳴り、充電ランプが赤色と緑色に交互に点灯します。

赤色と緑色が交互に点灯



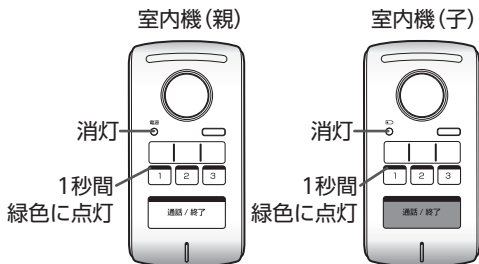
2台目、3台目の増設用室内機を登録するときも、室内機ボタン[1]を押してください。

6 登録が完了すると、室内機(親)と増設用室内機の確認音が鳴り、電源ランプ、充電ランプがそれぞれ消灯して、登録した増設用室内機と室内機(親)の登録番号が1秒間緑色に点灯します。

ここで点灯した室内機ボタンの番号が、増設用室内機の登録番号になります。



登録を途中で止めるには、「音量/設定」ボタンを押します。



重要

1分以内に登録が完了しないときは、エラー音が鳴り、室内機(親)と増設用室内機が待機状態になります。



室内機(子)は登録時に番号が割り当てられます。

他の室内機(子)との通話時には、室内機(子)に割り当てられた室内機ボタンのランプや室内機ボタンを使用します。なお、室内機(親)との通話時には、自分の室内機(子)に割り当てられた室内機ボタンのランプや室内機ボタンを使用します。

例：室内機(子)2から呼び出す場合

室内機(子)1の呼び出し：室内機ボタン[1]を使用

室内機(親)の呼び出し：室内機ボタン[2]を使用

室内機(子)3の呼び出し：室内機ボタン[3]を使用

増設用玄関子機の登録方法

室内機(親)に増設用玄関子機を増設する場合は、最初に以下の手順で登録を行ってください。

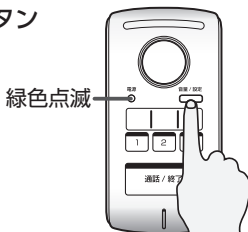
重要

- 登録作業が済んでいない増設用玄関子機は使用できません。
- 室内機(親)に追加で1台の増設用玄関子機が登録できます。(本製品には、玄関子機が1台すでに登録済です)

1 室内機(親)と登録する増設用玄関子機の電源を入れます。

2 室内機(親)の「音量/設定」ボタンを3秒以上押します。

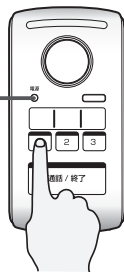
確認音が鳴り、電源ランプが緑色に点滅します。



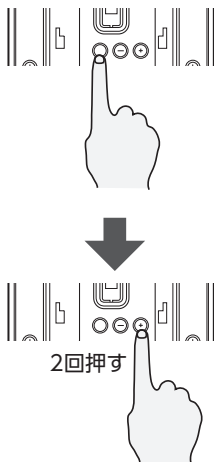
3 室内機(親)の室内機ボタン[1]を押します。

確認音が鳴り、電源ランプが赤色と緑色に交互に点灯します。(登録するモードになります。)

赤色と緑色が交互に点灯



- 4** 増設用玄関子機裏面の設定ボタンを確認音が鳴るまで押し、音量＋ボタンを2回押します。(5秒以内)
音量＋ボタンを押した後にも確認音が鳴ります。



- 5** 登録が完了すると、増設用玄関子機と室内機(親)の確認音が鳴ります。また、室内機(親)では電源ランプが消灯して、玄関2ランプが1秒間緑色に点灯します。



登録の解除方法

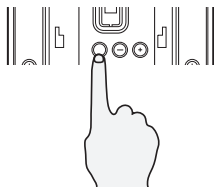
玄関子機の登録または、登録されているすべての室内機(子)の登録情報を削除するには、以下の手順で操作を行ってください。

● 玄関子機での登録解除方法

1 室内機(親)と登録を解除する玄関子機の電源を入れます。

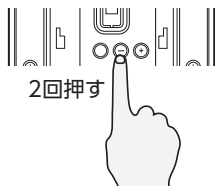
2 増設用玄関子機裏面の設定ボタンを確認音が鳴るまで押します。

確認音が鳴ります。



3 音量ーボタンを2回押します。
(5秒以内)

確認音が鳴り、登録情報が削除されます。



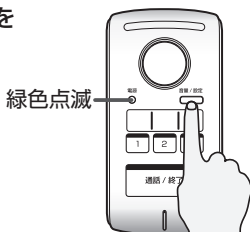
● 室内機(親)での登録解除方法

室内機(親)で登録を解除すると、登録されているすべての玄関子機および室内機(子)の情報が削除されます。(特定の玄関子機および室内機(子)を選んで削除することはできません。)

1 室内機(親)の電源を入れます。

2 室内機の「音量/設定」ボタンを押します。

確認音が鳴り、電源ランプが緑色に点滅します。



3 室内機(親)の室内機ボタン[3]を押します。

確認音が鳴り、電源ランプが1秒間緑色で点灯し、登録情報が削除されます。



重要

増設用室内機での登録解除操作は、増設用室内機の取扱説明書をご確認ください。

便利な使い方(増設用室内機(別売品)を増設した場合)

増設用室内機を追加すると、室内機間で通話できます。
増設用室内機を追加することによって、下記機能を使用することができます。

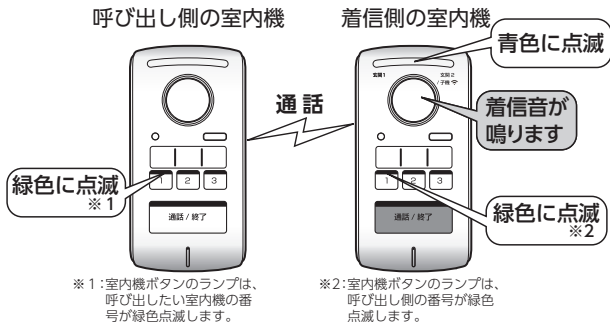
- 個別呼び出し
指定した室内機を呼び出すことができます。
- 個別呼びかけ
着信側では「通話/終了」ボタンを押さずに返答ができます。
- 一斉呼び出し
室内機から登録されているすべての室内機を呼び出すことができます。
- 一斉アナウンス
すべての室内機に一斉に呼びかけることができます。
- 割り込み着信
(室内機(子)を登録しているとき)
通話中に玄関子機からの呼び出しにも対応できます。
- 緊急呼び出し
緊急時にすべての室内機をアラーム音で呼び出すことができます。
- 2回線同時通話
(玄関子機または室内機が4台以上登録されているとき)
最大2回線で、同時通話ができます。

増設用室内機を追加する際は、ワイヤレスインターホン増設用室内機(子)(DWA20R)をお買い求めください。

個別で室内機間の呼び出し・通話(個別呼び出し)

指定した室内機間で通話できます。

- 1 室内機の室内機ボタン[1]~[3]のいずれかを押します。
押した室内機ボタンに対応する室内機ボタンのランプが緑色に点滅します。
- 2 着信側の室内機から着信音が鳴り、着信ランプが青色、室内機ボタンのランプが緑色に点滅します。



(イラスト:増設用室内機を呼び出したとき)



室内機(子)に室内機(親)から着信したときには、室内機(子)に割り当てられた登録番号の室内機ボタンのランプが緑色に点滅します。

3 室内機ボタンのランプの点滅中に、「通話/終了」ボタンまたは点滅している室内機ボタンを押します。

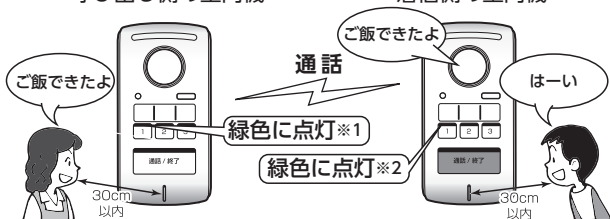
着信音が鳴り止め、室内機ボタンのランプが点滅から点灯に変わり、通話モードになります。



室内機(子)が室内機(親)から呼び出されたときは、自分の室内機(子)に割り当てられた室内機ボタンのランプが点滅します。

呼び出し側の室内機

着信側の室内機



※1:室内機ボタンのランプは、呼び出したい室内機の番号が緑色点灯します。

※2:室内機ボタンのランプは、呼び出し側の番号が緑色点灯します。

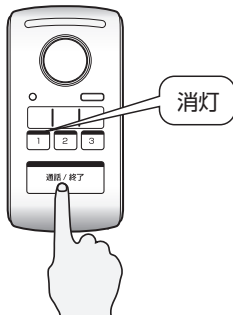
(イラスト:増設用室内機と通話しているとき)

4 通話が終了したら、呼び出し側または着信側の室内機ボタンまたは「通話/終了」ボタンを押します。

通話が終了し、双方の室内機が待機状態になり室内機ボタンのランプが消えます。

「通話/終了」ボタンまたは点灯している室内機ボタンを押すまで通話モードが続きます。

双方の室内機



個別の室内機への呼びかけ(個別呼びかけ)

着信側の人が操作する必要がなく、連絡することができる便利な機能です。

重要 玄関子機に呼びかけることはできません。

1 個別呼びかけをする室内機ボタンを3秒以上押します。
「通話/終了」ボタンのランプが緑色に点滅します。

2 短い着信音が鳴り、着信側の室内機と通話ができます。

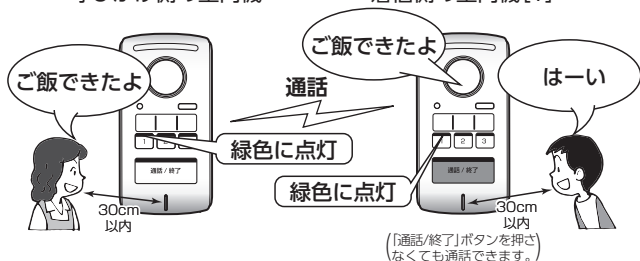
呼びかけ側の室内機

着信側の室内機[1]



呼びかけ側の室内機

着信側の室内機[1]

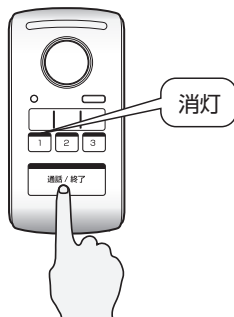


(イラスト:増設用室内機と通話しているとき)

- 3** 通話を終了する場合は、「通話/終了」ボタンを押します。
通話が終了し、双方の室内機が待機状態になり室内機ボタンのランプが消えます。

重要 必ず「通話/終了」ボタンを押して、通話を終了してください。

呼びかけ側の室内機：待機状態



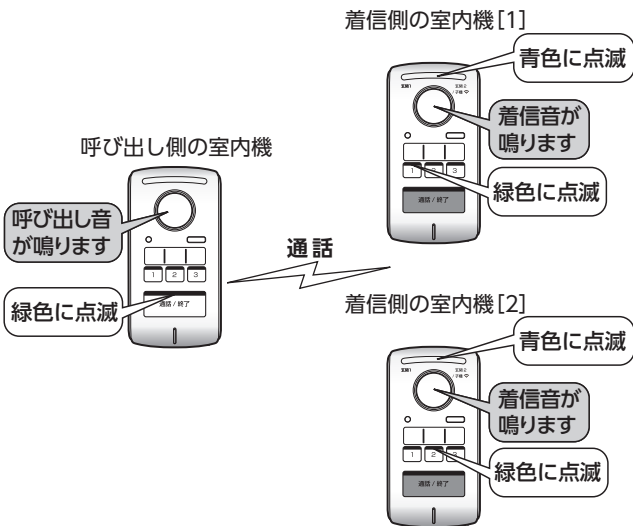
すべての室内機への呼び出し(一斉呼び出し)

すべての室内機を一斉に呼び出すことができます。

重要

一斉呼び出しでは、最初に応答した室内機と1対1の通話ができます。(玄関子機を呼び出すことはできません。)

- 1 呼び出し側の室内機の「通話/終了」ボタンを押します。
呼び出し音が鳴り、「通話/終了」ボタンのランプが緑色に点滅します。
- 2 着信側の室内機から着信音が鳴り、着信ランプが青色、室内機ボタンのランプが緑色に点滅します。



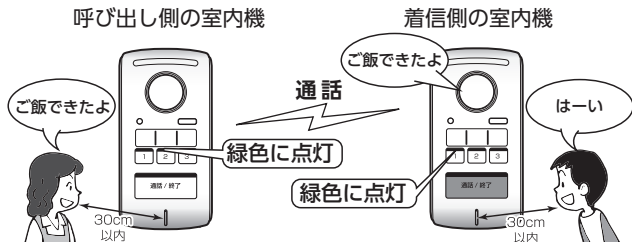
登録されている室内機に割り当てられている番号の室内機ボタンのランプが、緑色で点滅します。

(イラスト:室内機(親)から呼び出したとき)

3 着信ランプの点滅中に、「通話/終了」ボタンを押します。着信音が鳴り止み、着信ランプが消灯します。室内機ボタンのランプが点灯に変わります。室内機と通話することができます。

4 通話を終了する場合は、室内機の「通話/終了」ボタンを押します。(室内機ボタンでも終了できます。)
通話が終了し、すべての室内機が待機状態になり室内機ボタンのランプが消えます。

重要 必ず「通話/終了」ボタンを押して、通話を終了してください。



(イラスト:増設用室内機と通話しているとき)

すべての室内機への話しかけ(一斉アナウンス)

すべての室内機に一斉に話しかける(一斉アナウンス)ことができます。

重要

- 一斉アナウンスでは、着信側の室内機から、応答はできません。
- 玄関子機に話しかけることはできません。

1 「通話/終了」ボタンを3秒以上押します。

呼び出し音が鳴り、「通話/終了」ボタンのランプが緑色に点滅します。

話しかけ側の室内機

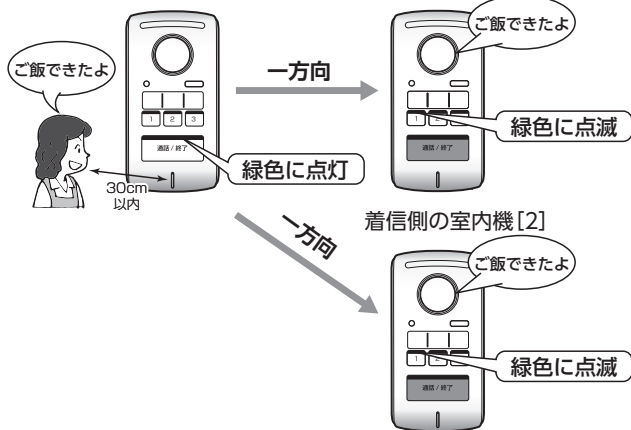


2 着信側の室内機から1回のみ着信音が鳴り、一斉アナウンスを開始します。

着信側の室内機の「通話/終了」ボタンを押す必要はありません。

話しかけ側の室内機

着信側の室内機[1]



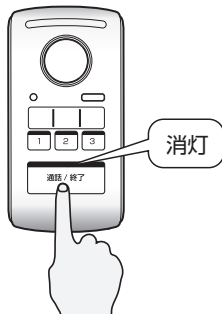
3 一斉アナウンスを終了するときは、呼び出し側の室内機の「通話/終了」ボタンを押します。

すべての室内機が待機状態になり室内機ボタンのランプが消えます。

重要

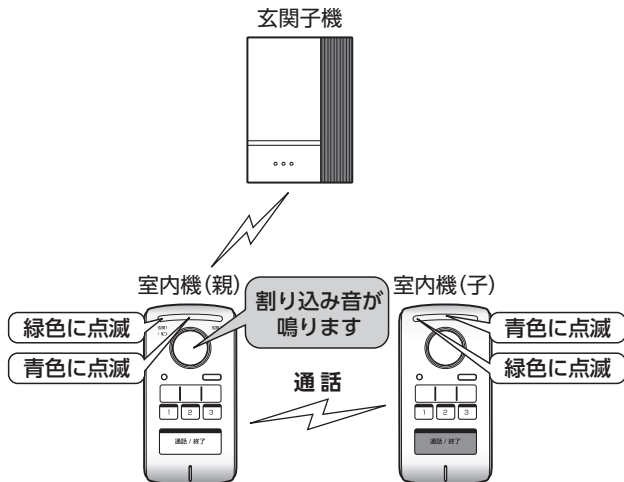
呼び出し側の室内機で「通話/終了」ボタンを押して、通話を終了してください。(着信側の室内機で「通話/終了」ボタンを押した場合は、その室内機への話しかけだけが終了します。)

話しかけ側の室内機



割り込み着信(室内機(子)を登録しているとき)

- 室内機の通話中に玄関子機から呼び出しがあった場合
「通話/終了」ボタンを押すと、玄関子機との通話が開始されます。
- 1 室内機間通話中、「通話/終了」ボタンを押します。
玄関子機からの呼び出しに対応することができます。



重要

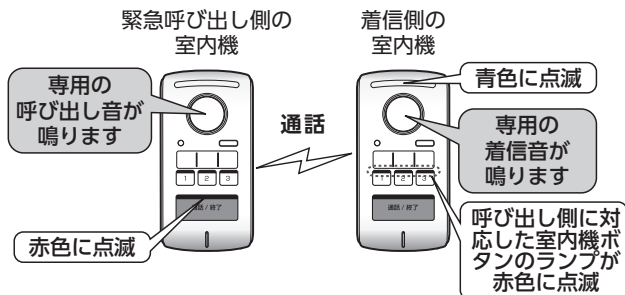
- 室内機間で通話中に玄関子機の呼び出しボタンが押されると、割り込み音が鳴ります。そのときに室内機で「通話/終了」ボタンを押すと、通話が終了し、玄関子機との通話に切り替わります。
- 「通話/終了」ボタンを押さなければ、現在の通話が継続します。

室内機(子)からの緊急呼び出しの着信

緊急呼び出しモードを設定した室内機(子)は、他の室内機を緊急に呼び出して通話することができます。

緊急呼び出しされた室内機では、専用の着信音が鳴り、着信ランプが青色、呼び出し側に対応した室内機ランプが赤色に点滅します。このとき、玄関子機や別の室内機と通話中の場合は、通話が強制的に終了されます。

着信ランプの点滅中に、「通話/終了」ボタンを押して、通話をはじめてください。



重要

増設用室内機での緊急呼び出しモードの設定操作や呼び出し操作は、増設用室内機取扱説明書をご確認ください。

2回線同時通話

玄関子機または室内機が計4台以上設置されていると、2回線で別々に通話できます。



- 2台の機器が通話中(1回線目)に、通話していない室内機は通話していない別の室内機を呼び出して通話することができます。
(通話中の室内機は呼び出されません。)
- 2台の機器が通話中(1回線目)に、通話していない室内機は通話していない玄関子機からの呼び出しに応答して通話することができます。
(通話中の室内機で応答したい場合は➡60ページ)

故障と判断する前に

まず最初に室内機(親)からチェックしてください。

室内機(親)

症状	確認内容	対処方法
動作しない	停電になっていませんか？	復旧するまで待ってください。
	ACアダプターがコンセントからはずれていませんか？	ACアダプターをコンセントに差し込んでください。
	ACアダプターのプラグが室内機(親)から抜けていませんか？	プラグを室内機(親)にしっかりと差し込んでください。➡19ページ
	室内機(親)の着信音量をミュートに設定していませんか？	室内機(親)の着信音量の設定を変更してください。
	着信ランプが青色で点滅(2秒間隔)していませんか？	玄関子機が登録されていない状態になっています。一旦登録を削除し、室内機(親)に再度登録してください。➡43ページ
	室内機(親)の玄関1ランプまたは玄関2ランプが赤色で点滅していませんか？	玄関子機の電波が届いていない可能性があります。玄関子機の呼び出しボタンを押して、玄関子機からエラー音が鳴らないか確認してください。
	電源ランプが消灯していませんか？	ACアダプターが外れているか、または故障の可能性があります。ご購入店、または弊社カスタマーセンターにご相談ください。
	サイレントモードに設定していませんか？	サイレントモードを解除してください。 ➡36ページ

症状	確認内容	対処方法
相手の声が小さい またはエコーや反響音がする	通話音量の設定が「最小」または「小」になっていませんか？	通話音量の設定を「中」または「大」にしてください。 ➡33ページ
	両方から同時に話しかけていませんか？	相手が話し終えてから、話をしてください。 音の大きい方が優先されます。
	室内機の周囲の音が大きくなりませんか？	周囲の音を小さくしてください。
	異物（ホコリなど）で室内機のマイク穴をふさいでいませんか？	マイクの異物を取り除いてください。
	室内機上部（スピーカー付近）を手で覆っていませんか？	上部から手を離してください。
こちらの声が相手に聞こえにくい	マイクから離れすぎていませんか？	マイクに向かって（30cm以内）話してください。
着信音が小さい または聞こえない	着信音量の設定がミュート、「最小」または「小」になっていませんか？	着信音量の設定を「中」、「大」または「最大」にしてください。➡33ページ

玄関子機

症状	確認内容	対処方法
動作しない	電池が入っていますか？	電池を入れてください。
	電池の⊕、⊖を間違えていませんか？	電池を正しい方向で入れなおしてください。 ➡20ページ
	室内機(親)の玄関1ランプまたは玄関2ランプが赤色で点滅していませんか？	電池残量が少なくなっています。2本とも新しい電池に交換してください。圏外の場合も赤色点滅します。 ➡20ページ
室内機(親)が受信しない	室内機(親)の電源は入っていますか？	室内機(親)の電源ランプを確認して、緑色で点灯していることを確認してください。➡19ページ
	室内機(親)に登録していますか？	玄関子機を増設した場合、室内機(親)に登録が必要です。➡46ページ
	呼び出しボタンを押すと警告音が鳴りませんか？	電波が届いていない可能性があります。設置場所を変えてみてください。

症状	確認内容	対処方法
相手の声が小さい またはエコーや反響音がする	通話音量の設定が「最小」または「小」になっていませんか？	通話音量の設定を「中」または「大」にしてください。 ➡42ページ
	両方から同時に話しかけていませんか？	相手が話し終えてから、話をしてください。 音の大きい方が優先されます。
	玄関子機の周囲の音が大きくありませんか？	周囲の音を小さくしてください。
	異物（クモの巣や、雪、雨水など）が玄関子機のマイク穴につまっていますか？	マイク穴の異物を取り除いてください。
	玄関子機本体に雨粒が激しく当たっていますか？	雨粒の振動がマイクに伝わると振動音が優先されます。 設置場所を変更してください。
こちらの声が相手に聞こえにくい	マイクから離れすぎていませんか？	マイクに向かって（30cm以内）話してください。

メンテナンス・別売品

お手入れおよびメンテナンス時のご注意

- 本製品や本製品の付属品は、お子様の手が届かない場所に保管してください。
- 本製品を分解しないでください。故障の原因となります。
- 本製品を落としたり、強い衝撃を加えたりしないでください。
- ACアダプターは、必ず付属の専用ACアダプターを使用してください。
- ベンジンやアルコール、シンナーなどは使わず、乾いた布で乾拭きしてください。溶けたり、変形や変色の原因となります。
- 長期間使用しないときは、室内機（親）から電源コードを外してください。また、玄関子機からは、電池を取り外してください。

別売品について

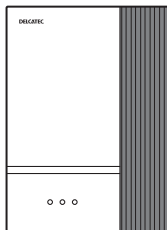
増設用室内機（子）または増設用玄関子機を購入後、必ず登録を実施してください。

● 増設用室内機（子）



増設用室内機（子）
型番：DWA20R

● 増設用玄関子機



増設用玄関子機
型番：DWA20D

重要

室内機（親）には室内機（子）が合計3台、玄関子機を追加で1台増設できます。
（本製品には玄関子機は、1台登録済です。）

仕様

室内機(親)

項目	規格
標準規格	ARIB STD-T101準拠
周波数	1,895.616~1,902.528 MHz (1.728MHz step)
通信方式	時分割多元接続方式
通信可能距離	約100m(見通し)
増設子機の登録台数	室内機(親)に対して最大5台 (室内機(子)3台+玄関子機2台)登録可
電源	専用ACアダプター 入力:AC100V(50Hz/60Hz) 出力:DC6V/0.5A
消費電力	0.66(通話)/0.53(待機)
着信音	室内機用3種類/玄関機用2種類
使用温度範囲	-10~+40℃
外形寸法	(H) 120×(W) 60×(D) 24.4 mm
質量	約80g(壁掛けスタンドを除く)

玄関子機

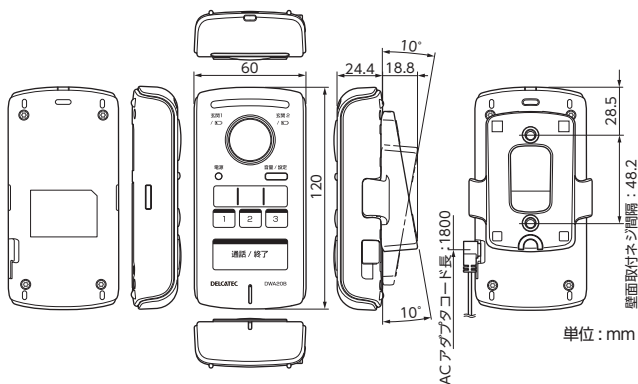
項目	規格
標準規格	ARIB STD-T101準拠
周波数	1,895.616~1,902.528 MHz (1.728MHz step)
通信方式	時分割多元接続方式
通信可能距離	約100m(見通し)
電源	単3アルカリ乾電池 2本
連続通話時間	3分間
電池寿命	約1年 ^{※1}
防水性能【保護等級】	IPX3 (防雨型)
使用温度範囲	-10~+50℃
外形寸法	(H) 131×(W) 98×(D) 33 mm
質量	約230g(電池除く)

※1:10秒間の通話を1日5回行った場合の計算値

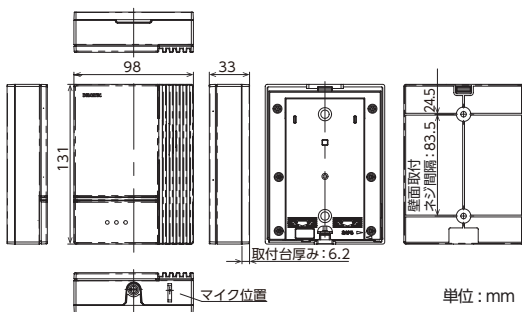
仕様は改良により予告なく変更させていただくことがありますので、ご了承ください。

外形寸法図

室内機(親)



玄関子機



※本製品を処分するときは、地方自治体のルールにしたがって処理してください。

製品に関する
お困りごとを解決!



スマートフォンで
各種設定方法が
わかる➡



ホームページでも初期設定や、各種端末の詳しい手順を確認できます。

[1016]

QRコードからアクセスしてください。

保 証 書

●無料修理規定

※本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管ください。

1. 本保証書は、お買い上げから下記保証期間内に故障した場合、無料修理規定により、当社が責任をもって無料修理を行なうことをお約束するものです。(消耗部品は除く)
したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
2. 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な場合は、お買い求めの販売店、当社営業所またはカスタマーセンターにお問い合わせください。なお、商品を直接当社へ送付した場合の送料などはお客さまのご負担とさせていただきます。また、保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店、当社営業所またはカスタマーセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
3. 保証期間中、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い求めの販売店を通じて無料修理いたしますのでお申し付けください。
4. 次のような場合には保証期間内でも有料修理となります。①ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。②お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。③火災、地震、噴火、洪水・津波などの水害、落雷、その他の天変地異、戦争・暴動による破壊行為、公害、塩害、ガス害、ねずみや昆虫、鳥など動物の行為による損傷、指定以外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障および損傷。④塗装の色あせなどの経年劣化や、使用に伴う摩擦などにより生じる外観上の現象。⑤用途以外(例えば車両、船舶への搭載など)に使用された場合の故障および損傷。⑥本保証書を提示・添付されていない場合。⑦本保証書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い求めの販売店の記入のない場合、または字句を書き換えられた場合。
5. 製品対価以上の保証はいたしません。
6. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。(This Warranty is valid only in Japan.)
7. 期間中の転居、贈答品、その他の理由によりお買い求めの販売店に修理が依頼できない場合には、当社カスタマーセンターまたは当社営業所にご相談ください。
8. お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただきます場合がございますので、ご了承ください。

型 番 DWA20BD		お買上月日 年 月 日		保証 期間	お買上日から 1 年 間
ご住所・ご店名 電話 () -		ふりがな 様 お名前 お住所 電話 () -			

カスタマーセンター

土・日・祝日もご利用ください!



0570-033-083

※全国一律料金でご利用いただけます。

※携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

※ナビダイヤルは各社音声通話定額サービスの対象外となっております。

(1908)

DXアンテナ株式会社

受付時間 9:30~17:00 (夏季・年末年始休暇は除く)

一部のIP電話で上記番号がご利用になれない場合: 050-3818-9016

ホームページアドレス

<https://www.dxantenna.co.jp/>

6069-3